



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子

やさしい子

たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@asaka-c.ed.jp

発行責任者 校長 栗飯原 かをり

新学期が始まりました



実り多い2学期となるように

～学びを止めない～すべては子供たちのために～

コロナ第7波の中の夏休みとなりました。7月下旬に予定していた5年生の林間学校も、夏休みが始まると「コロナ陽性」の知らせが続々と届くようになり、やむなく11月に延期する事態となりましたが皆様いかがお過ごしだったでしょうか。

幸い、交通事故等、大きな事故の知らせはなく安心いたしました。2学期もコロナウィルスの感染防止対策を続けながら「学びをとめない」努力を続けてまいります。

さて、四小では夏休み期間を利用し、教職員は様々な研修を実施しました。研修内容の一つに、子供のつまずきや困り感を理解し、支援、指導するための手立てについて専門家を指導者に招き子供の困り感を模擬体験するようなワークも交えご指導いただきました。児童期は障害の有無にかかわらず、脳（前頭葉）は発達途中で、集中力、道徳的規範を守って行動することなどに大きな個人差があることや、教師の指示や指導の意味がうまく理解できていないが、それを伝えられない児童も多いこと等、科学的な根拠を示しながら指導いただき、大変勉強になりました。声かけとしても「同じことばかり繰り返して！どうしてわからないの！」「どうしてやらないの！」ではなく『この子が同じことを繰り返すのはなぜだろう』『どうしてやらないのだろう』などと考えて声かけをし、児童の困っているわけを聞き出すなど寄り添った指導の重要性を再認識することができました。

また、「～すべき」「～でなければならない」等の考え方にこだわっているのは大人の側なのではないかなどの反省点も出てきました。

社会では多様性が叫ばれています。我々も考え方や指導の仕方を多様化しなければならないのだと思います。大人の社会でも、ある人の正義は、ある人の恐怖だったりすることがあります。子どもたちを「自分を認め、他者を認められる大人」に育てるためには、まず大人の凝り固まった頭を柔らかくしなければならぬのだと思います。

2学期の学びが豊かで実り多いものになるよう、努力してまいります。御理解と御協力をお願いいたします。

2学期の学校行事について

コロナ第7波がおさまっておりません。年度当初にお示した行事予定について、やむなく変更する場合がございます。その際は、手紙、メールでお知らせいたします。ご了承ください。

